

街角トピックス



松江

◆新入生が
護身術学ぶ

新入生を対象にした護身術講座がこのほど、松江市浜乃木7丁目の県立大松江キャンパスであり、人間文化学部と短期

大学部の203人が、松江署員の手ほどきで万一の際の対応を身に付けた。写真。

学生たちは、不審者に手首を捕まれた際、自分の肘を相手の肘に当てて

距離を取る技や、背後から襲ってきた相手の足を踏む方法など三つの技を学んだ。交通事故を想定した110番通報も体験した。

短期大学部保育学科1年の景千里さん(19)は「教わったことを生かし、実際に被害に遭っても焦らないように努めたい」と話した。

講座は、学生の防犯意識を高めようと授業の一環として、松江署員4人の協力を得て県立大が企画した。
(重田耕壮)